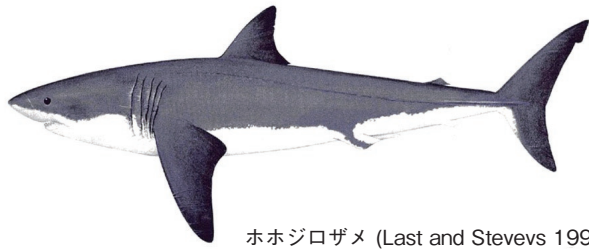


ホホジロザメ 日本周辺

Great White Shark, *Carcharodon carcharias*



ホホジロザメ (Last and Stevens 1994)

管理・関係機関

絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約 (ワシントン条約, CITES)

最近一年間の動き

世界的には、特に目立った動きは見られなかった。全般に日本周辺での出現報告は少なく、2006 年以降は出現が確認されていなかったが、4 年ぶりに宮城県の気仙沼魚市場に水揚げされたとの事である。

生物学的特性

- 寿命：おそらく 20 年以上
- 成熟開始年齢：雌 12 ~ 14 歳、雄 9 ~ 10 歳
- 繁殖期・繁殖場：2 ~ 3 月・沖縄、
4 ~ 5 月・南西日本沿岸域
- 索餌場：熱帯・温帯の沿岸域
- 食性：硬骨魚類、さめ類、哺乳類、海鳥、ウミガメ等
- 捕食者：シャチ

利用・用途

鰭はフカヒレスープの原料に、肉は食用になる。また歯や顎が工芸品にされ高価格で取引されるが、我が国ではほとんど利用されていない。

漁業の特徴

わが国に本種を対象とする漁業はなく、漁獲情報は不明である。まれに定置網に迷入される。

漁業資源の動向

文献や新聞等に記録された本邦周辺海域の本種の年別出現数をみると、過去 50 年間にわたりほぼ均等な頻度で出現が記録されている。1992 年に 12 件、1993 年に 6 件の報告があるのは、1992 年の本種による事故でマスメディアの関心が集まった結果、例年よりも熱心に報告されたためと考えられる。

資源状態

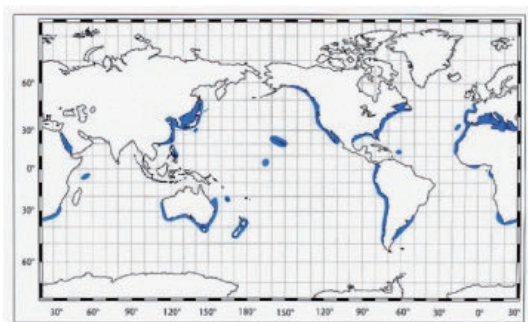
ホホジロザメを漁獲する漁業はなく、本種資源を定量的に分析できる資料はない。全国の定置網に偶発的に迷入された記録等があるのみである。

管理方策

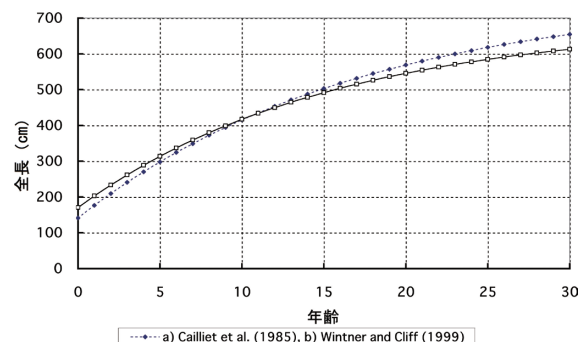
本種が絶滅の危機にあるとして、2004 年のワシントン条約第 13 回締約国会議では、附属書掲載がオーストラリア、マダガスカル共同で提案され、採決の結果、附属書 II 掲載が採択された。我が国には本種を目的とした漁業はなく、積極的な漁獲努力は行われていない。

資源評価まとめ

定量的に分析できる資料はない。



ホホジロザメ分布 (Last and Stevens, 1994)



ホホジロザメの成長

資源管理方策まとめ

- ワシントン条約附属書Ⅱへの掲載
- 情報収集システムの確立が急務

ホホジロザメ(日本周辺)の資源の現況(要約表)

資源水準	調査中
資源動向	調査中
世界の漁獲量	調査中
我が国の漁獲量	数年に一度の迷入